

広げよう！優良実践の輪！

～ 令和2年度 優良実践校の取組 ～

取組 1

「中和いきいき学習」を核とした 開かれた学校づくり

真庭市立中和小学校

1 はじめに

本校は、鳥取県境に接し、児童数24名の小規模校です。中和の自然、歴史、文化、そしてそこで暮らす人々を教材として、探究的な学びを展開するのが、「中和いきいき学習」です。

この「中和いきいき学習」を核にして、特色ある学校づくり・開かれた学校づくりを行いました。

2 取組の概要

「中和いきいき学習」を継続・発展していくために、年度初め

中和いきいき学習で付けたい力

育成を目指す資質・能力

「知識・技能」	「思考力・判断力・表現力等」	「学びに向かう力、人間性等」
1 物を見る目と気付く力 ① 豊かに感じる力 様々な感覚を使い、物事に 関心する。 ② ふれあい・気付く力 「人」「もの」「こと」 とふれ合い、そのよさを 感じる。	2 自ら考え、探究し学び合う力 ① 探究する力 A 課題設定力 目的をもち、実現のための活動や見 通しを明らかにする。 B 情報収集力 目的に沿った情報を、必要な手段を 活用して収集する。 C 整理分析力 目的に沿って情報を分類し、まとめ る。集めた情報から価値あるものを 考え見つける。 E 表現発信力 相手や目的に応じて、様々な手法で 分かりやすくまとめ表現する。 ② 問題解決力 自分の考えを伝達したり、目的に合っ たおたすずめをいかにして理解を深め る。（対話する力）	3 自己を見つめ、ともに生きようとする力 ① 関わりあふれる力 「人」「もの」「こと」と関わり、 学びあおうとする。 ② 自己を見つめる力 学習を振り返り、自分の生活につ ながりを感じる。 ③ ともに生きようとする力 人・自然・社会と自分との関連に 関心をもち、それらを尊重し大切 にしようとする。

ほこすきりきだい

リリーちゃん

「中和いきいき学習」で付けたい力

の校内研修において、「中和いきいき学習」をなぜ行うのか、どんな子どもを育成するのか、そのために教師はどんな視点で児童を指導するのかといったことを全教員が確認・共通理解することからスタートしました。

この共通理解を基に、保護者や地域の方々の力をお借りしながら進めてきた取組について紹介します。

(1)「中和いきいき学習」の取組

全教員が児童に付けたい力を共有し、さまざまな体験活動を切り口として、発達段階に合わせ、生活科や総合的な学習の時間を使って、低学年は「中和いきいき探検隊」、中学年は「中和いきいき新聞記者」、高学年は「中和いきいきプロデューサー」として活動しています。

その学びを発信するとともに、より深化する場を確保するために行うのが「ふるさと学習発表会・交流会」です。

この会は、前半を「中和いきいき学習」での学びを発信する発表会、後半を児童・保護者・地域の方々との交流会として実施

しています。交流会では、児童は直接保護者や地域の方々から前半の発表について感想や意見を聞き、より大きな達成感や自己有用感などを感じ、主体性を育むことができます。また、自身の学びの確認や今までとは違う視点での気づき・発見により、新たな学習課題や学習の方向性を見つけ、発表会以降の学習に生かすことができます。

つまり、この「ふるさと学習発表会・交流会」も児童の体験活動の一つとして位置づけています。

(2) 学びの継続の工夫

主体的・継続的な学びを行うために、「中和いきいき学習」は、今年度の活動を基に次年度の学習内容を今年度中に決めておきます。

複式学級（1・2年、3・4年、5・6年）である本校では、4月になると下学年であった奇数学年の児童は、学年が上がっても同じクラスにとどまります。その結果下学年が加わったり、担任が替わったりしても、すでに学習内容は決まっているので、主体的・継続的な学びがスムーズにスタートできます。

(3) 開かれた学校づくりの取組

本校は、令和元年度から、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を取り入れました。また、より質の高い教育を行うために、地域の人材が積極的に教育活動に参加したり、学識経験

者や地域の方々をお招きして校内研修・研究授業等に参画していただいています。

令和2年度より校内研究等に地域の方も参画



令和2年度から校内研究等に地域の方も参画

3 おわりに

「中和いきいき学習」は、豊かな自然と長い歴史や文化、そして、そこに暮らす未来志向で多様性を尊重する人々が暮らす「中和」だからできる教育だと思います。

これからも「ありがとうのつながり」「中和のお宝」を大切にしながら、保護者や地域の方々のお力をお借りしたり、ご指導を仰いだりしながら、持続可能な社会の創り手となる児童を育成するとともに、開かれた学校づくりを行っていきたいと考えています。

（校長 木田 訓祥）